

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 6 月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100256		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい戸坂		
所在地	広島県広島市東区戸坂大上3丁目2-30 (電話) (082) 229-2822		
自己評価作成日	H29年5月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100256-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年6月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

人として当たり前の活動（食事は口から摂取、排泄はトイレで行う、お風呂は湯船につかる等）を援助すると共に、その人らしさを実現していく為、食事・入浴・排泄等の日常生活の場面において、介護が必要な方を単なる介護の対象者として捉えるのではなく、私たちと同じ生活者として向き合い、その人が生活の主役、人生の主役となっただけの様、生活を再建していく「自立支援の介護」を実践しております。そして、ご利用者と共に町内行事等に参加させて頂くことで、地域住民の方々と交流を図り、地域に根ざした事業所づくりに努めております。また、母体がクリニックということもあり、日々の健康管理や急変時の対応等も医師・看護師と連携を密に行うことが可能なので、安心して生活して頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念である四つのバリューワードを基本に、職員は「生活づくり10ヶ条」の実践に努め、原点を見つめ直し、利用者がその人らしく暮らし続けられるよう、個々のニーズに合わせた支援や生活リハビリを重ね、共に地域の中で様々な活動を通じながら、共助の関係性や交流を深めていく姿勢がある。運営推進会議には利用者・家族・近隣の系列事業所や各関係者の参加を得て意見交換を行ない、会議内容の充実や運営に活かしていく工夫に取り組んでいる。職員間の意識統一や「5S」の徹底を図り、家族・関係者との信頼関係の構築を心掛け、利用者一人ひとりの思いに寄り添いつつ、チームケアの更なる向上を目指して日々尽力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の行動指針となる生活作り10カ条を、基にした生活が当たり前となることを目標にし、職員が全員その言葉の意味を理解・実践する為、管理者・リーダーが、中心となり周知徹底に努めている。	法人理念である「まごころこめて・良質のサービス・幸福な人生・向上心」の基本信条の意味を職員間で見つめ直し、フロア毎の目標や個人目標を定め原点に立ち返りながら、日々のケアの実践に活かせるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域への行事参加や、GHと地域との共同行事の開催などの交流を行っている。町内会にも加入し、地域の一員として交流を行っている。	町内清掃をはじめ、とんど祭りなどの季節行事に参加し交流を図っている。今後は様々な地域行事に積極的に参加し、地域資源の活用も視野に入れながら交流の輪を広げようとする姿勢が伺える。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	専門的な認知症ケアについては、常に向上心を持ち、地域の方からの相談を受けた時は、誠意をもって対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議において、ご利用者の生活状況報告やケア実践の報告を行い、参加者からの意見や提案を頂き、サービスに反映している。	近隣の系列事業所と合同で隔月開催する当会議には、利用者・家族・行政関係者などの参加を得て各報告や意見交換を行っている。	地域住民も含め広く参加メンバーを募り、会議内容の充実と共に、議事録の整備に努め、更に運営に活かしていく取り組みに期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議への定期参加を促している。運営推進会議の報告にて、事業所の取組み実践を伝えている。	地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加をはじめ、日頃から相談や手続きなど密に連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内外の研修に参加することで理解を深め、ホーム内は朝7時半～20時半までは、施錠せず職員がしっかり見守りながら、如何なる拘束も行わないよう支援している。	なるべく制約を加えない見守りによるケアの実践に取り組んでいる。フットセンサーを使用するケースはあるが、身体拘束をしないケアについて職員全員で留意している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人内外の研修に参加することで、理解を深めると共に、職員皆が注意を払い、防止に努めている。	/	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加することで、知識を深めるよう努めている。実際利用されている利用者もいらっしゃるため、直接学ぶ機会もある。	/	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書および契約書を提示し、具体的に説明するよう努めている。ご利用者及び家族からの要望や疑問等については可能な限りの適切な対応に努めている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回家族会を開催し、家族よりの意見を伺う機会を設けると共に、普段より面会時に意見等あれば、うかがうようにしている。	主に面会時や家族会・運営推進会議で意見や要望を伺い、出来る限り意向に沿えるようコミュニケーションを図っている。電話連絡やお便りはもとより、家族との風通しの良い関係性や更なる信頼関係の構築に臨んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月リーダー会議、フロア会議で意見交換できる機会を確保している。	個人面談で、職員のストレスケアも図りつつ、年一回の全体会議をはじめ、リーダー会議・フロア会議などで意見交換し、提案ほかを反映させている。「5S」の徹底やチームケアの向上に取り組み、運営に活かせるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務考課表や職務チェックリストによる個々の職員の評価制度を設け、年2回実施し昇給等に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	筆記、実務試験を実施。職員の介護知識、技術の把握に努めている。定期的な内部研修により、介護技術の向上に努めている。外部研修については、研修補助費という制度を利用できる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所が集う研修などに参加し情報交換を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面会時はご本人様とのコミュニケーションに重点を置き趣味や楽しみなどをお聞きする。又、担当者を定め、その方を深く知れるよう家族様も含め聞き取りを行う。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様より、要望や聞き取りをすると共に、事業所のコンセプトを伝え場合によっては、家族様にご協力を必要とすることを理解いただく。 密な情報交換により、ご家族様に安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面会や電話にての相談時には、ご本人やご家族等に今、必要な支援を把握し、ご本人にあったサービス利用の提供を支援できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援を念頭におき、共に行うという意識のもと支援している。 調理の助言や掃除の手伝い、教えて頂く機会はたくさんある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様の面会時には、気軽に情報交換ができるよう、ふだんから関係作りを大切にしている。 行事などには、ご参加して頂き協力して頂くことで思い入れの場所などに、家族様が連れ出して下さることもある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	随時面会を受け入れている。 年賀状などの、お返事をお手伝いしたりしている。	自筆で書ける利用者には年賀状や便りなどを職員も手伝いながら出したり、馴染みの人や懐かしい関係性を大切にしながら各々の活動に組み込み、個性を活かした関係継続の支援をしている。ボランティアによる音楽会を催すほか、面会者や関係者などが訪れやすい雰囲気づくりに配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性を考慮した席順にし、行事などで職員が間に入り取り持つように務めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後、アルバムを作り送らせて頂いたり、ご近所の方からは、庭のカキなど取りに来なさいやと、ご連絡頂いたりGHの行事に参加いただくこともある		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いを把握し、生活に反映できるよう努めている。 意思疎通が困難な方には、人生史を深く掘り下げることでご本人の意向に沿えるよう努めている。	普段の生活の中で、さりげない会話やふれあいを通じて一人ひとりの思いや意向を汲み取っている。ライフスタイルや好みを尊重し、その人らしく過ごせるように、家族からの聞き取りや個別記録を活用しながら個別ケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	担当制としており、生活歴を深く掘り下げるように努めている。 本人が会話の中で発せられたことも、共有する為に記録に残すようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日バイタルチェックを行い、心身の現状の把握に努めている。 入浴や着替えの時に、身体をチェックする。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族様に事前に要望や心配ごとなどを面会時や毎月のお電話などでお聞きし、家族の意見を反映しながら、カンファレンスにて職員間で見直しを検討している。体調に急変などあった場合は、その都度見直しを行っている。</p>	<p>担当スタッフの収集した情報や家族・関係者・ドクターの意見などを加味しながら、ニーズに合わせた介護計画を立案している。月に一回のモニタリング、定期的なカンファレンスで見直しを行い、個々の思いに寄り添ったプラン作りに取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録への記入が以前は体調面のみが多く、日常生活の様子が少なかったが、現在はすべての、気づきを記入するようにし情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師と連携し、必要に応じて支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域への行事参加や、GHと地域との共同行事の開催など交流を行っている。町内会にも加入し、地域の一員として交流を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医はご本人、ご家族様の希望を第一に治療方針を決定し、スムーズな受診ができるよう、ご家族様と面談や、お電話で情報交換を行っている。</p>	<p>定期的な内科・歯科の訪問診療や隔週に一回の訪問看護をはじめ、日々のバイタルチェックで健康管理している。診察結果などの情報は家族と共有し、服薬管理・感染症対策など適切な対応がなされ、急変時にも医療関係者との速やかな連携が取れる体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	法人の訪問看護師が週に1回来所し状態観察を行っている。 又、治療やケアの助言や指導を必要に応じて受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の医療機関との協働は、連絡を密にとり面会時に状態を、お聞きしたりしている。 加えてJR病院と医療連携の書面を交わしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期ケアについては、看取りに関する指針の記載を基に体制は整っている。	ターミナルケアに関する指針があり、重度化した場合について家族ほかとよく話し合い、その都度医療との連携を図りながら、出来る限り一人ひとりの思いに寄り添う支援にチームで取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルだけではなく慌てず対応できるよう、看護師より事前に助言や相談を聞いてもらい、事故発生時に備えている。 法人内での研修などに参加。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	総合消防訓練を年2回行っている。 その中で今年から災害時の対策についても、お時間をとって頂くよう、お願いしている。 災害時の地域協力については非常食を準備している。	消防署員立ち会いのもと、定期的な避難訓練を実施し、避難経路などの確認やアドバイスを得ながら職員間で防災意識を高めている。地域協定は結んでいないものの、非常食などの備蓄をし、地域との協力体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者の尊厳を傷つけないように、十分配慮している。 排泄介助時はカーテンと扉で仕切り、介助できるようにしている。	日々の生活の中で人生の先輩として敬い、声掛けや接し方に配慮し、個々のペースに合わせながら尊厳を護るケアを心がけている。特にトイレでの介助やオムツ交換時には、プライバシーに留意したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々にあった方法で説明し本人の意思を、尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日のスケジュールにケアを合わせるのではなく、その日の状況や希望に合ったケアが出来るよう柔軟な対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月、訪問美容室に来て頂いている。家族様には季節ごとに衣類の衣替えを、お願いし本人様の好みの衣類を持ってきていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様の希望を取り入れたり、食事の準備や配膳など、出来る範囲で行っていただいている。	朝と昼は配食サービス、夕食は職員手作りの食事提供で、利用者も準備や後片付けなど出来ることは役割分担しながら、職員と共に食事を楽しんでいる。おせち料理や行事食などで季節感を味わっていただけるよう旬の食材や彩りにも工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	水分摂取は個別に目標摂取があり、ゼ リーなどを活用し、場面、場面で提供し ている。 食事は個別で状態に合わせた形態で提供 し記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを行っている。 訪問歯科の往診が必要な方は、その都 度、受診して頂き、歯科医より指導を受 けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	トイレで気持ちよく排泄頂く為、個別に排 泄パターンを把握するよう努め、個々に あった排泄介助を行っている。	個々のパターンやタイミングを見計ら い、トイレ誘導している。水分補給や体 調コントロールに留意し自然な排泄につ ながる支援に努めている。筋力低下を防 ぐような活動やゼリーを活用した水分摂 取など自立へ向けたケアに取り組んで いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	適切な水分摂取、適度な運動、食材への 配慮を日々心がけ自然排便ができるよう 留意している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	全て、希望にそっているわけではないが 可能な限り、ご希望を聞くよう努めて いる。 個別の状態にあった介助方法にて、負担 なく、気持ちよく入浴して頂けるよう努 めている	日々の心身状況に合わせてながら、なるべ く要望に沿った入浴支援を行なってい る。入浴はリラックスと共に、職員との コミュニケーションの場としても大切な 時間と捉え、利用者のペースに合わせた ケアに工夫を重ねている。	

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	午後から少し、居室で休んでいただける時間をつくっている。 夜間の睡眠に妨げにならないよう注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬リストは個別ファイルで管理し、職員同士が確認しあい、服薬介助を行っている。 又、症状の変化等見られた場合には速やかに、看護師、医師に連絡を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯たたみやごみ集め、テーブル拭きなど、主に手伝っていただいている。 外気浴や近所へ散歩などへ、お誘いし気分転換を、はかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近辺への、お出かけは体調面に考慮し、行なっている。 又、個別での外出や遠方へ出かける時などは、家族様にも参加して頂いたりなど、協力を頂いている。	気分転換や生活リズムを整えるためにも、天気の良い日には近くのファミリー菜園辺りを散歩したり、庭の畑の様子を見がてら日光浴を心がけている。誕生日に希望の場所へ出かけたり、ドライブなど個別外出の支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本ホームでは、個人のお金は預かっていない。 本人が望む買い物などは、ご家族様へご相談したのち、立替にて購入させていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の取次ぎや、お手紙などは職員が間に入り支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室内は換気を行い、室温、湿度を管理している。</p> <p>毎月、壁に行事や日常での写真を張らせて頂き、季節を感じて頂いている。</p>	<p>一階リビングに各フロアの利用者が集まり、職員と共に「遊びリテーション」を楽しむなど室内での活動量を増やす取り組みに共用空間を活用している。壁には利用者の笑顔の写真を飾り、ゆったり寛げるソファの設置など居心地良く過ごせるスペースづくりに配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファを配置し、一人で、ゆっくりできる場所となるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際、本人の使い慣れた家具や飾りなどをお持ちいただき、可能な限り、自宅に近い環境作りに、務めている。</p>	<p>落ち着いてその人らしく暮らせるよう、使い慣れた調度品を持ち込み、配置している。思い出の写真、お気に入りの品々などを飾り、個性を活かした居室の環境整備に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや、居室の位置がわかるように、大きく看板や目印を付けている。</p>		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい戸坂

作成日 H29年6月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の参加者が変わらない。	参加メンバーが増える。	まずは地域へもっと出ていき、色々な方々にお声をかけていく。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。